

現役合格への 軌跡

2025 年度 共通テスト歴史総合，日本史探究 第1問 3 〔問題編〕

2025 年度から，日本史探究選択者にも世界史探究選択者にも「歴史総合」が試験範囲に加わりました。今回は 2025 年度の共通テスト歴史総合，日本史探究の第1問の 3 を解説したいと思います。まだ1度しか実施されていないため，今後，変化する可能性はありますが，2025 年1月に実施された歴史総合全8問中，日本史分野の学習で得た知識だけでは解答が難しい出題もありました。歴史総合の教科書は，中学歴史で学んだ情報の上に構成されているという点をふまえ，中学歴史の教科書を確認するなど，中学歴史でふれたことのある知識を中心に，理解を深めるという姿勢で取りくみましょう。

リード文抜粋

先生：1851 年の国際衛生会議では，検疫の実施をめぐる大きく対立しました。例えば，ア は，イ ということを理由に，検疫に反対しました。

丸島：検疫実施に反対したことには，ア が穀物法を廃止したことにも通じる考え方があったのですね。

問3 会話文中の空欄アに入る国の名と，イに入る文との組み合わせとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① **アーイギリス**
イーコレラの国内侵入を水際で阻止し，人的被害を抑制する必要がある
- ② **アーイギリス**
イー国家が，船の通行や入港を制限することで，貿易を妨げるべきではない
- ③ **アースペイン**
イーコレラの国内侵入を水際で阻止し，人的被害を抑制する必要がある
- ④ **アースペイン**
イー国家が，船の通行や入港を制限することで，貿易を妨げるべきではない

2025 年度 共通テスト歴史総合，日本史探究 第 1 問 3 [解答解説編]

【解答】

正解：②

【解説】

会話文中の空欄 **ア** に入る国名と **イ** に入る文との組合せとして正しいものを選択する問題です。空欄 **ア** の国が検疫に反対した理由 **イ** は“国家が船の通行や入港を制限することで，貿易を妨げるべきではない”＝自由主義政策を進めていたために穀物法を廃止し，検疫に反対した。穀物法は，イギリスで制定された国産農業保護法であり，輸入穀物に高い関税を課したが，自由貿易運動が高まる中で 1845 年に廃止された。つまり，「穀物法廃止」から「イギリス」と判断します。

2025 年度から，現役生を対象に日本史 B ではなくて日本史探究が試験科目となりました。2025 年度の共通テスト歴史総合，日本史探究の第 6 問の 33 を解説します。日本史探究という科目の性質上，暗記は必要です。しかし，共通テストでは単純な暗記だけでクリアできるような一問一答形式の問題はほとんど出題されません。資料や図版，グラフなどから読み取った情報を，もっている知識とつなげて選択肢を絞り込んでいく必要があります。

問 5 二人は，長谷川町子の漫画「意地悪ばあさん」に松本清張が描写された例（資料 3）を見つけ，それを読んで疑問を抱き，調べることにした。二人の疑問あ・いと，それぞれの調べ方として最も適当なもの W～Z とについて，組み合わせとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 33

資料 3 長谷川町子「意地悪ばあさん」『サンデー毎日』1971 年 3 月 21 日号

著作権処理の都合により
図省略

（注） 「→」で示した人物が「意地悪ばあさん」。

（注） 石川達三は芥川賞作家として著名な社会派の小説家で，この漫画が描かれる 1 か月前，女性に選挙権を持たせるべきでないとして論争を呼んでいた。

疑 問

あ 資料 3 の時期に，女性の政治参加はどの程度進んでいたのだろうか。

い 資料 3 で，長谷川町子が松本清張を登場させたのはなぜだろうか。

調べ方

W この時期までの国政選挙における投票率を男女別に調べる。

X この時期で直近の国政選挙における各政党への投票数を男女別に調べる。

Y 主要な政治課題である規制緩和・構造改革に関する松本清張の主張について調べる。

Z 『サンデー毎日』をはじめとする主要な週刊誌における松本清張の社会的評価について調べる。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① あ－W | い－Y | ② あ－W | い－Z |
| ③ あ－X | い－Y | ④ あ－X | い－Z |

【解答】

正解：②

【解説】

二人の疑問あ・いと、それぞれの調べ方として最も適当なものを選択する問題です。あの「女性の政治参加がどの程度進んでいたか」という疑問を解決するためには「〇〇年の参加率は△△%であったが、□□年には◇◇%にまで上昇した」などを見る必要があります。Wの「この時期までの国政選挙…」の調べ方が正しいということになります。Xの「この時期の直近の国政選挙における各政党への男女別の投票数」を調べても、女性の政治参加の進行具合を知ることはできません。いの「長谷川町子が松本清張を登場させたのはなぜだろうか」という疑問を解決するためには「石川達三は女性に選挙権を持たせるべきでない」としているのに対し、「松本清張はどういう意見を持っているか」を調べなければならないので、Zの「主要な週刊誌における松本清張の社会的評価について調べる」調べ方が正しいということになります。資料3は1971年3月21日とあり、Yの「規制緩和・構造改革」(2000年代、小泉純一郎内閣の時期)は時期的におかしいと判断できます。探究学習を意識した出題でした。この問題に限らず、年号や人物や出来事を丸暗記するだけではなく、身につけた知識をもとに判断する、また、与えられた資料などをしっかり読み込むなど、思考力や読解力を要する出題が多く見られました。今後もこの傾向は続くと考えられますので、「社会は定期テスト前に丸暗記して終わり」といったような学習から早く脱却すべきですね。

※共通テストは多様な出題形式で問われることがわかりいただけたでしょう。思考力や読解力を要する問題がかなりの配分を占めますので、日本史を単純に暗記だけで乗り切ろうとしてきた生徒にとってはかなり難解で、時間がかかる問題ばかりでした。

次回は 2024 年度の共通テスト日本史 B を解説する予定です。